

# すみだ 区議会だより

NO. 181

発行：墨田区議会事務局

130-8640墨田区吾妻橋一丁目23番20号△5608-6352

http://www.city.sumida.lg.jp/kugikai/

2013.10.31

## 主な掲載内容

- 1面 第3回定例会のもよう
- 2面 代表質問（自民党・公明党）
- 3面 代表質問（共産党・きずな）
- 4面 一般質問(4人)／緊急質問(2人)／意見書
- 5面 委員会の活動(審査した議案等)／意見書
- 6面・7面 区議会アンケートの結果
- 8面 議決した議案等と表決結果



コスモスが揺れる荒川四ツ木橋緑地（八広六丁目付近）

## 自転車の利用秩序及び自転車駐車場の整備に関する条例（一部改正）を議決

墨田区議会は、平成25年第3回定例会を9月3日から9月30日までの28日間にわたって開きました。

9月3日の本会議では、山崎区長からすみだ北斎美術館の建築工事契約入札不調に係る所信表明がありました。

9月10日の本会議では、自由民主党、公明党及び日本共産党から、それぞれ会派を代表して代表質問を行いました。

9月11日の本会議では、すみだの絆から会派を代表して代表質問を行うとともに、4人の議員が一般質問を行いました。

9月25日の本会議では、山崎区長からすみだ北斎美術館建築工事費を含む補正予算案の議案撤回についての所信表明がありました。このことについて、2人の議員が緊急質問を行い、その後、議案の撤回が承認されました。また、区政に混乱を招いた責任をとるため区長から提出された議案「墨田区長等の給料の特例に関する条例」を原案どおり可決しました。

9月30日の本会議最終日は、区長から提出された「墨田区教育委員会委員任命の同意について」及び安全・安心まちづくり推進事業に要する費用等を盛り込んだ「平成25年度墨田区一般会計補正予算」を含む議案10件を原案どおり可決したほか、「新食品表示制度に関する意見書」を含む議員提出議案3件を原案どおり可決しました。

また、区長から平成24年度各会計歳入歳出決算4件が提出されたため、区議会では16人の委員で構成する決算特別委員会を設置し、10月17日から11月7日まで審査を行うことになりました。

### 会議日程（会期28日間）

第3回定例会中に開かれた主な会議は次のとおりです。

日	会議	内容
9月3日	本会議	・会期の決定 ・区長の所信表明
9日	議会運営委員会	・本会議の議事運営
10日	本会議	・代表質問
11日	本会議	・代表質問／一般質問 ・区長提出議案の説明 ・委員会付託
17日	区民文教委員会	・付託議案の審査等
19日	福祉保健委員会	・付託陳情の審査等
20日	産業都市委員会	・付託議案の審査等
24日	議会運営委員会	・本会議の議事運営
25日	本会議	・区長の所信表明 ・緊急質問 ・議案の撤回 ・区長提出議案の説明 ・議案の議決 ・委員会付託
	議会運営委員会	・本会議の議事運営
	企画総務委員会	・付託議案の審査等
27日	議会運営委員会	・本会議の議事運営
30日	本会議	・議案の議決等 ・区長提出議案の説明 ・委員会付託（決算）

## 平成25年第3回定例会

代表質問

区政を問う!

すみだ北斎美術館の入札不調について、十分な説明を



自由民主党 福田 はるみ

【問】すみだ北斎美術館の建築工事契約の入札が不調となり、工事費を再積算したところ当初予算に比べて約7億3000万円も高くなったため慌てて補正予算を立てる強硬手段を取ることに憤りを感じている。区政に混乱を招き、議会審議を軽視する状況は全く賛同できない。議会に十分説明し、予算審議をやり直すことが必要区長の考えを伺う。②平成26年度末までに事業を完了しなければ国の交付金の対象ではなくなると区長は説明した。交付金対象事業の工事について、全国的に入札不調により対象期間を超える事態が相次いで発生し、国土交通省は対象期間の延長等を検討していると聞いている。国交省とはどのように協議しているのか。③北斎美術館の維持管理費の一層の削減を私たちは要求しているが、どう考えるか収入増について、来館者の確保等の具体的計画案も示してほしい。

【答】①ご指摘については重く受け止め猛省するとともに、改めて深く陳謝申し上げる。予算審議をやり直していただくことが、本来の対応だと認識している。そのような中、北斎美術館建設は地域活性化やふるさと意識の醸成に貢献すること、区の実質的な財政負担は約1億1000万円であること、国の交付金を活用する上で時間的制約があること等を総合的に勘案し、建設に着手することとした。②建築費の増額が判明した後、国交省に確認した結果、対象期間の延長は困難との回答だった。この情報は、現段階で把握していない。③魅力ある企画展、教育普及活動等に力を入れて地域で北斎を顕彰する機運を醸成し、世界に発信できるプロモーションを展開しなければならぬ。他の美術館とのネットワークを構築し、来館者増につなげ、収入面からコスト減を図っていききたい。

【問】本所地域プラザ建設の進捗状況について

【答】①設計内容の一部変更等により、工事の進捗に少なからず影響を及ぼすことも想定され、円滑な工事進捗に努めるよう指示してきた。しかし、なかなか工事がはかどらず、内装工事や外構工事の一部に遅れが生じることとなった。②施工業者が配布した文書の内容は、多くの点で事実と異なっている。工事金額の変更について施工業者と協議しているが、双方が主張する金額に大きな開きがあり、第三者機関による紛争解決も視野に調整していききたい。

【問】特別養護老人ホームの整備事業について

【答】①新・東京清風園が開設され、特別養護老人ホームの待機者数が改善したが、多くの区民が特養ホームの更なる整備を待ち望んでいる。旧木下川小学校跡地を活用した特養ホームの整備について地元の意向を十分確認し、理解を得ていくことが重要と考える。地元との調整は、どのように行われているのか。②民有地を活用した特別養護老人ホームの整備事業者が選定されたが、公有地、民有地の2か所を合わせて待機者数はどの程度改善するのか。

【問】町会役員・区職員からなる連絡会を立ち上げて意見交換を行い、地元では、おむね好意的に受け止めていたが、地元の十分な理解を得るよう努めていく。②民有地を活用

【答】①町会役員・区職員からなる連絡会を立ち上げて意見交換を行い、地元では、おむね好意的に受け止めていたが、地元の十分な理解を得るよう努めていく。②民有地を活用

すみだ北斎美術館工事契約入札不調の原因究明と再発防止を



公明党 とも 宣子

【問】すみだ北斎美術館新築工事契約が入札不調となり、当初の積算結果と7割近くの価格差が発生するなど区積算業務の信用は失墜した。業務の信用回復と再発防止策についての考えを伺う。②今回は債務負担した52床を合わせると、おむね170床の増床が見込まれる。これまで新規の入所者が年間約150名で推移しているが、今後は更に増えるものと見込まれる。待機者の解消には及ばないが、介護度の重い方の待機者数は一定程度解消できると考えている。

【問】今回、垂離が生じた結果を踏まえ、個別案件の特殊性を十分に認識し、その積算に当たっては、事前に専門家の参考意見を聴取する機会を持つなどの対応を検討する。②本来、改めて予算審議を経て入札手続きをすべきと十分に認識している。しかし、財源を確保する上で時間的制約があり、総合的に勘案して私の執行責任として実行した。今後、区議会との信頼回復に鋭意努め、このような事態が生じないように十分留意する。③北斎の偉業を称え、多くの区民が北斎に親しむことができる施設として取り組んでいきたい。「北斎の意志が生きているまち」にすることが生誕地の使命であると強く感じている。

【問】国土交通省の荒川下流域の将来像計画では沿川

【答】①区からの要望を受け入れた国の計画に区内への設置が盛り込まれた。現在は国による地質調査や実施設計の準備を行っている。②船舶が接岸できる水深が十分に確保できること、また、船着場へ容易に進入するために橋脚等に近接していないことなどの条件をもとに、国が検討している。③国と調整してき



【問】真夏日は公園・保育園等の遊具などの鉄製の部分が高温になるため、子どもやけつが増加している。鉄製部分を遮熱塗装し高温化を防いでどうか。②我が会派の提案により区内7か所の学校・保育園にミストシャワーが設置された。

【問】近年、学校給食時の食物アレルギーによる児童の死亡事故が発生している。本区のアレルギー対策について伺う。

【答】学校ごとの食物アレルギー対応委員会の設置や教員の役割分担・運用方法についても更なる徹底を図っていく。

【問】附属新潟式学級力向上の取組を参考に、アイチエックと連動した墨田版学級力向上プロジェクトを立ち上げるべき。

【答】附属新潟式学級力向上の取組を参考に学校をあげて学級崩壊を未然に防止し、学級力向上を図る仕組みを検討していく。

# すみだ北斎美術館の建設は中止し、防災・福祉のまちづくりを



日本共産党  
西 恭三郎

**問** ①北斎美術館は、区民から強い要望があつて具体化した施設ではない。事業開始から25年経過しても「何として建設してほしい」という声は聞かれず、「建設反対」の声が我が党のアンケート調査でも48%に上つている。また、これまで毎年5億円を区が赤字補填している「すみだトリフォニーホール」の建設・合計75億円の追加支出を余儀なくされたホテル中心の「国際ファッションセンター」の建設・横領事件により10億円の追加支出を余儀なくされた「すみだケーブルテレビ」への出資の「3大失政」により、区は深刻な財政危機を引き起こし、その借金返済に、福祉施策をはじめ区民施策450余が削減された。北斎美術館の建設によって、区財政に大きな影響を与え、他の区民施策を圧迫することは明らかである。区長は「3大失政」から、何を教訓として学んだのか。②区は「公共施設白書」を取りまとめ、施設の耐用年数を40年とした場合、その維持管理や建替えに毎年114億円もかかるとして、施設の統廃合や施設数の削減等を打ち出している。その一方で、この時期に北斎美術館を建設することは矛盾しているのではないのか。③このような北斎美術館の建設を中止するよう強く求め、区長の見解を問う。

**答** ①本区では、これまで「音楽都市づくり」構想に基づき、新日本フィルハーモニー交響楽団と提携した「すみだトリフォニーホール」の整備、区内ファッション関連産業の集積を生かし、企画開発力・デザイン力の向上及び人材育成を図る拠点となる「国際ファッションセンター」の整備、電波障害解消対策や地域情報メディアの充実と普及を図るための「すみだケーブルテレビ」への出資を行ってきたところであり、現在、いずれも大きな成果を挙げているものと認識している。しかし、多額の公費負担を余儀なくされたことを省みて、北斎美術館の整備では、できるだけ区の負担額を減らす努力をしているところである。②「公共施設白書」は、公共施設マネジメントを推進していく必要性から、その基礎資料として作成した。北斎美術館についても、更なる経費の圧縮や来館者を増やす努力を行い、公共施設マネジメントの手法を用いて適切に管理運営を進めていくよう取り組んでいく。③東京スカイツリーが開業し、本区に注目が集まっているこの時期に、本区から世界に発信する拠点として整備していきたい。

**問** ①建設費が7億3000万円増額となることについて、当初予算の積算ではどのようなリサーチを基に予算計上したのか。②今回の再積算した予定価格は誰がどのような形で積算したのか。業者の指値をそのまま受け入れたのではないのか。③平成26年度までに建設が完了しないと、主要な財源である国の「まちづくり交付金」の対象外となることこの時期に建設する最大の理由としているが、この「まちづくり交付金」は福祉・防災などへの活用にも選択可能である。「区長の選択の誤り」だったのではないのか。④補正予算案が可決される前に契約手続きに入ったことは重大だ。予算の裏付けのない仮契約は違法であり、議決されていない「債務負担行為の追加分」で仮契約できることが法的に可能であると示す根拠を示してほしい。

**答** ①当初予算では設計事務所所において、各種メーカーからの助言等を基に積算されたものを参考に、区として工事費を算出した。②再積算についても、設計事務所が算出したものを参考に区として算出した。③本区では、おしなり公園整備事業などのハード事業のほか、ソフト事業でも、まちづくり交付金対象事業として実施している。④契約の再公告における予定価格が、議決された債務負担行為の限度額の範囲内である限りにおいて、法的な面での問題はないと判断した。



## 北斎美術館建設の補正予算案は撤回せよ

**問** 今年、関東大震災から90年目の節目の年でもあり、我が党は今までも「東日本大震災の教訓を生かした福祉と防災のまちづくり」を提唱してきた。北斎美術館の建設はきっぱりと中止し、補正予算案など

# すみだ北斎美術館の建設を改めて強く支持する



すみだの絆  
田中 哲

**問** ①すみだ北斎美術館の建設に当たり入札が不調に終わったことは誠に遺憾である。きちんとした調査と説明を。スカイツリー開業以来、区は「観光」のキーワードで大きな変化を遂げつつある。今回新たな財政負担が発生するもの、すみだ北斎美術館建設を私たちは改めて強く支持し、推進すべきと考えている。②区保有の北斎資料に「富嶽三十六景 本所立

**答** ①施工上の複雑性・困難性を予定工事費に反映し得ていなかったこと、予定工事費の積算に当たって建築費を圧縮することも考慮して積算したこと、建築資材等の高騰などもあって、入札不調に至ったと分析している。積算における認識の甘さが根底にあり、深く陳謝申し上げる。②「本所立川」は、開館までに所蔵できるよう引き続き情報収集に努めていく。③北斎美術館が存在するすみだの将来像について、全庁一丸となつて積極的に取り組んでいる姿を発信していくことが極めて重要と考える。すみだまつりや北斎漫画をテーマにした展示会、さらには北斎まつりなどで意義を訴えていきたい。④すみだ北斎美術館が加われば、本区を訪れる方々にとって非常に魅力的な区内回遊を促す環境が生まれると期待している。庁

**問** 平成24年の第4回定例会で、「鬼平焼きそば」について質問した。地元は動き出している、現在計画中の食のまちめぐり事業にも参加の意向を固めている。同様の動きが寺島ナスにも見られる。まちの動きを行政はもっと支援できないか。観光の最大の楽しみは食べるといふ行為である。すみだには、ちゃんこ鍋をはじめ特色ある食文化がある。ノウハウのない民間や地域を支援することで新しい産業が生まれると考えているが、区長の考えを伺う。

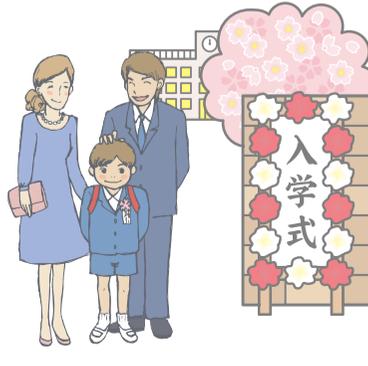
**答** まちを活性化していくという動きが出ていくことは大変心強い。こうした動きを加速させるべく、個店有志が実行委員会を結成して区がサポートする食のまちめぐり事業を今年度から展開している。また、地域ブランド推進事業等の産業施策や「まちあるき博覧会」等の観光施策と連携を深めた、相乗効果も狙いとしている。地域の食を掘り起こし、磨き上げ、つなぎ合わせる支援を通して産業と観光の融合を図っていきたい。

内が横断的に連携し、最大限の努力をしていきたい。

## 「鬼平焼きそば」などの食によるまちおこしへの支援を

**問** ①かねてより入学式・卒業式の土曜日・日曜日の実施について求めてきた。運動会は日曜日に行われている。子どもたちは親に晴れ姿を見てほしい。子どもたちの立場に立った答弁を求める。②区長・教育委員会の告辞が卒業式にあるの

**答** ①児童・生徒への教育的な視点、保護者及び地域の理解や協力が得られるかといった観点等から校長が総合的に決定する。区内では日曜開催の例はなく、土曜開催も数区市で見受けられるといった状況である。校長会等で引き続き研究していくので、ご理解いただきたい。②区職員が代読するという卒業式の形式ではなく、文書で簡潔なメッセージを伝えるような形について、式典の進行方法も含めて現在検討している。来年度から実施したい。



## 区立中学校は平成16年度から、区立小学校は17年度から、区立小学校2学期制を実施してきた。思いどおりの効果が上がっているのか。今後は、どういった方向を模索するのか。

**答** 授業時間数が確実に増加し、よりきめ細かい学習指導が可能となり、学力向上や児童・生徒指導等の課題解決に一定の効果があつた。効果を高める取組の一層の充実を図っていきたい。